

令和 5年度予算見積調書

課室名: 会計課
 担当名: 予算係
 内線: 2234

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P5	特殊詐欺総合対策の推進			一般会計	警察費	警察活動費	警察活動費	地域防犯活動推進費		
事業期間	平成27年度～令和5年度	根拠法令	警察法第2条			針路	02 県民の暮らしの安心確保	SDGsゴール	16	
						分野施策	0201 防犯対策の推進と捜査活動の強化	SDGsターゲット	16-6	
1 事業の概要 増加する特殊詐欺へ対処するため、「抑止」と「検挙」の両輪での継続的な対策を図る。 ア 被害水際防止作戦 941千円 イ 被害防止コール作戦 81,044千円 ウ ネットワークカメラの運用 13,035千円 エ デジタル情報解析の強化 3,036千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 被害水際防止作戦(特殊詐欺抑止対策員用資機材、通信回線料) 941千円 イ 被害防止コール作戦(特殊詐欺被害防止コールセンターの注意喚起架電及び警告架電に係る業務委託料) 81,044千円 ウ ネットワークカメラの運用(カメラリース代) 13,035千円 エ デジタル情報解析の強化(情報解析用端末リース代) 3,036千円 (2) 事業計画 ア 被害水際防止作戦 ホットライン通報により、特殊詐欺抑止対策員を現場に派遣し、被害を水際で防止する。 イ 被害防止コール作戦により、被害に遭いにくい環境を醸成する。 ウ ネットワークカメラの運用、デジタル情報解析の強化 カメラ捜査、デジタルデータの解析等により、特殊詐欺組織の実態を解明し、被疑者を早期に検挙する。 (3) 事業効果 ・防犯への意識を向上し、高齢者が被害者となる特殊詐欺被害を抑止する。 ・被疑者を早期に検挙し、犯罪組織を壊滅させることで、特殊詐欺被害の拡大を抑止する。						
2 事業主体及び負担区分 (国5/10・県5/10)、(県10/10)										
3 地方財政措置の状況 (区分)警察費(細目)警察活動費(細節)一般活動費 (積算内容)都道府県警察費補助金対象経費										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員なし										
予算額		財源内訳							一般財源	前年との対比
		国庫支出金								
決定額	98,056	40,522						57,534	△9,473	
前年額	107,529	45,340						62,189		

事業内訳書

事業名	特殊詐欺総合対策の推進		
単位事業名	被害水際防止作戦	予算額	941千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	529	164	特殊詐欺対策員活動資機材等
役務費	412	0	通信回線料
合計	941	164	

単位事業名	被害防止コール作戦	予算額	81,044千円
-------	-----------	-----	----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	81,044	△9,637	特殊詐欺被害防止コールセンター業務委託
合計	81,044	△9,637	

単位事業名	ネットワークカメラの運用	予算額	13,035千円
-------	--------------	-----	----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	13,035	0	ネットワークカメラ賃借料
合計	13,035	0	

単位事業名	デジタル情報解析の強化	予算額	3,036千円
-------	-------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	3,036	0	情報解析用端末賃借料
合計	3,036	0	